黒岩宏次議員

町民の足の確保を！「岩路線バスの運行存続等の取り組みについて」

？ 町民の要望は「岩地区からの路線バスの撤退と通学・通勤等に不便が生じるので、バス運行の継続を伊豆箱根バス本社（三島市）と交渉して欲しい。」とのことである。一般会計予算に路線バス運行補助金（五百万円）の計上がされている。現時点で協議続行中と聞いているが具体的な内容は。

また、バス利用者の増加と支出の削減のためにバスの小型化と細山地区へ運行地域の拡大を提案する考えはないか。

町長 運行存続について、廃止が心配されていましたが、バス会社と協議を重ねた結果、運行補助金を交付する方法で、今まで通り運行形態を確保する方向で話し合いを進めています。現在、町の予算額は５００万円と差があるが、闇雲に積算している訳ではなく早急に金額の詰めを行ない、契約締結をしていきたいと考えています。

自治体の　原点・役割りを壊すな！「暮らしと福祉を守る行政の推進について」

？ 菅民主党政権は、わずかの期間で自民党政権と「瓜二つの兄弟」のような内閣になった。「財政難」と言いながら財界本位の法人税の減税・証券優遇税制延長で二兆円減税を強行した。

また、社会保障の切捨てなど、選挙公約に反する行為を進めているが、絶対に許せない。

その上、過去最大の国債発行と消費税の増税で財源を確保する方針を打ち出している。国民は現政権に期待してきたが、幻滅から怒りへと国民の然磋（きょうさ）が高まっている。

自治体は「住民の福祉と暮らしを守る」という原点・役割を発揮する時である町長の姿勢と決意を伺う。

町長 政権・政党の批判はしたくありませんが、国民に約束したことは実行していただきたい。国民から選ばれた政治家は協調性を持ち、リーダーシップを発揮し、当然財源を確保し、公約は実現する必要があると考えます。そのつけを地方（町）に求めることは賛成できません。

さらに、未来の子どもたちに大きな負担にならぬように実行性を期待します。

一般質問

議員のためのコミュニケーション講座

信頼と笑顔あふれる町づくりをめざして！「自分も相手も幸せになるコミュニケーション講座」を開催

～心地よい人間関係を築くために～　という副題がついてのコミュニケーション術を学びました。日頃、議員間同士ではなかなかコミュニケーションが取り難い場である議会の一部を会場に開催しました。

講師はウェルネスライフサポート研究所・代表　加倉井さおり先生です。

先生は議員を対象に講座を担当することは初めてのことだそうですが、私たちもこれまでの議員活動の中で初体験でした。

『まず己を知り自分のいいとこ探しから、相手の良いところも見えてくる。人は認められることによって自分の持っている能力以上の力を発揮することができる。プラスのストロークを与えることにより、お互いを認め合い支えあうコミュニティの構築で、信頼の輪が町中に大きく広がる。このことが私たち議員の役割であり使命でもある。』

最後に、心を幸せでいっぱいにするために、いつも「自分の幸せ言葉」を持とう、ということを学びました。人を幸せにするためにはまず、自分の心をたっぷり、しっかり満たそう！

あなたも私も幸せに